

# 「戦争法廃止の政府」提案で 共産党・志位委員長が表明



日本共産党の志位和夫委員長は10月29日、国会内で記者会見し、民主党の岡田克也代表が27日の会見で、「(『戦争法(安保法制)廃止の国民連合政府』は)受け入れがたいが、参院選挙に向け共産党とどういう関係を築いていくかは大事だ」と述べたことなどへの受けとめを問われ、その立場を示しました。

## 本気で戦争法を廃止し、 立憲主義を取り戻す「提案」

志位氏は、「国民連合政府」を「提案」の要に位置づけた理由として、

- ①本気で、戦争法を廃止し、立憲主義を取り戻そうとすれば、安倍政権のもとでは不可能であり、それを実行する政府が必要になる。
- ②本気で、安倍政権を打倒しようとするならば、それに代わる政権構想を野党が責任をもって示す必要がある。
- ③本気で、選挙協力を成功させ、自公を打ち負かすためには、「戦争法廃止、立憲主義回復、国民連合政府」という国民的大義を掲げてたたかう必要がある—の三点を説明しました。

## 民主・岡田代表が日本共産党との 選挙協力の必要性を繰り返し強調 していることは重要な一致点

その上で、「岡田代表は、一連の発言のなかで、日本共産党との選挙協力の必要性については、繰り返し強調されていると思います。この点では私たちの『提案』との一致があることは重要だと考えます。同時に、政権の問題について、代表が、懸念や疑問を述べられていることも承知しています。この問題について、ご意見やご提案があれば、それをよくお聞きし、私たちの考えをよくお伝えしたいと思います。私は、いつでも話し合いに応じる用意があります」と述べました。

民主・岡田代表と  
いつでも  
話し合いの用意  
あります

## 戦争法廃止の「国民連合政府」実現へ全力



参議院(東京選挙区)予定候補  
弁護士・30歳  
やまぞえ・たく

山 添

拓



都議会議員(北多摩1区選出)  
おざき・あやこ

尾崎あや子

日本共産党

東京  
民報

ご意見・ご要望は 03-3370-0311、FAX 03-3370-0471

2015年10・11月号外 日本共産党東京都委員会の見解を紹介し  
ます。発行/東京民報社(港区芝1-4-9 平和会館5階) 1965年11月12日第三種郵便物認可